



のんほいToyohashiのメンバー

のんほいToyohashi

学生

地域貢献事業

第4回

引き出す▽豊橋の観光資源の知名度を上げる▽観光交流を目的に豊橋へ訪れる人を増やす▽魅力発信の媒体としてSNSの可能性を見いだす。

「電車が信号を待つのが新鮮」「日本一急なカーブが面白い」など、利用者にとっては当たり前のことが新鮮に映った。

NHKの朝ドラ「エール」のロケ地になった伊古部海岸や吉田城、賀茂しょうぶ園、公会堂などの画像が並ぶ。投稿には、住所や歴史の解説を書くことで、市

地元出身ではない

からこそ、別の角度から豊橋の魅力を見できると考えている。情報発信ツールの一つとして活用する写真共有アプリ・インスタグラムに

「二つの市の中に都会と田舎がグラデーションのようにある」とメンバーが話す豊橋。市外出身者にとって初めて知る一面も多い。例えば、市街地を自動車と併走する路面電車は「ICカードを使え

一方、動画投稿アプリ・ティックトックには、実際に現地へ行った気分になれるような短い動画を、ブログにはインスタで載せきれ

ない掘り下げた情報を発信している。各ツールごとの特性を生かし、発信内容を変えながら、豊橋が育んできた食や伝統文化、芸能、自然について、知りたい人へ情報提供すること

で、交流人口を増やすことを目指す。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年豊橋の夏の風物詩、豊橋公園の夜店や豊橋祇園祭の打上花火大会は中止になった。ただ、メン

バーは「今年夏の楽しみが増えました」と前向きだ。今後は、他の団体との差別化を図るために、観光資源だけでなく、地元企業も取り上げる予定。代表の2年、鈴木結唯さんは「市内外問わず、さまざまな人が訪れるきっかけをつくり、地域を盛り上げる手助けができたらしいな」と話す。



ミーティングの様子

SNSで豊橋の魅力発信

※協力・愛知大学 (飯塚雪)